



第7稲荷丸の千葉幸男船主船頭(前列中央)と乗組員。乗組員7人は30代中心と若く、3人は千葉さんが育て上げ、2人は育成中



スルメイカを追い全国の港に水揚げする綾里漁協所属船(昨年6月、新潟港)

市場や小売店を見学してもらった。講座の前後に東京で別日程でワークショップを開催する。動画は15分版で2本。1本は岩手沿岸の自然や観光、食べ物などを紹介する。もう1本は生産者の笑顔やインタビュー、浜の生活などを伝え、漁業の魅力をアピール。動画サイトや県のホームページで公開する。

大船渡市の漁業担い手確保支援事業宿舍整備費補助

補助対象経費	補助額	補助限度額
ア 宿舍の新築、増築または新築の宿舍の購入に要する経費	当該対象経費の2分の1に相当する額以内の額	2,000万円。ただし、新規雇用者1人当たり200万円を限度とする
イ 宿舍の改修または中古の宿舍の購入に要する経費	当該対象経費の4分の1に相当する額以内の額	1,000万円。ただし、新規雇用者1人当たり100万円を限度とする

大船渡市は本年度、漁業担い手確保支援事業を創設し、宿舍整備に乗り出した。市内の船主などが新規漁業雇用者らのために住居を新築、改修する場合などに、市が2万円まで補助する。就業や組合員資格取得で課題となっていた居住環境に対応。これまでに2件の交付を決定し、うち1件は11月から入居が始まった。

補助対象者は、漁業を営む個人、法人、団体と漁協。市外から転入する

新築や新築宿舍の購入ではいづれも上限で、整備経費の半額相当、雇用者1人当たり200万円、2千万円まで補助。表。改修や中古宿舍の購入はこの半分となる。

市水産課では「新規の受け入れから定着までのスパンを考え、担い手を確保したい。とくに受け入れでは宿舍がなければネックとなる」と(鈴木満広課長)と話す。労働力として

宿舍整備を市が後押し

元在住でそれぞれ2年間の漁業従事者が求められる。本年中に准組合員の資格申請を見込む人もある。

短期の体験実習開催

は、フェアに参加する綾里漁業者育成会の船主の間に要望がある。フェアの面談より時間をかけて就業希望者と接すれば適性を把握しやすく、実

実践修で長期間船に乗り前にもミスマッチを防げるという意図。研修途中で船から降ろさざるを得なかった過去を「心の傷」と悔いる船主も。

求人動画活用

岩手県沿岸広域振興局

今月下旬には体験講座

て漁船員を雇用するだけでなく、地域に根差し将来的に漁業に従事してもらうための支援と強調。市の単独事業で単年度2千万円の予算を計上した。水産は市の中核産業となる上、人口減少、定住対策とも合致するが、予算としては大きな額と

いう。地域の担い手対策のモデルケースになると期待する。

これまでに、綾里地区のサンマ船主2人が新築と改修の計画で補助金を申請、交付決定された。このうち、改修の宿舍は11月に整備完了、入居が始まった。

岩手県沿岸広域振興局は漁業就業者の増加に向け1月下旬、漁業体験講座を実施する。3月には動画の公開を予定。県内外の就業希望者を、振興局管内の市町が開催する就業支援講座などへの参加につなげる狙いだ。

漁業体験講座は22、24日、陸前高田、大船渡の両市で開く。女性を含む40歳以下の個人に、養殖漁業や力キむきを体験、

活魚介類・鮮魚・急速冷凍水産品卸売・水産加工品製造販売

鮮度にこだわった水産品

私達は青森県八戸市に居を構え、世界に八戸の北の海の幸を鮮度を保ったままお届けすることをモットーに、鮮度の高い水産品・水産加工品を製造・販売しております。



鮮度の高いうちに急速冷凍

本社敷地に急速冷凍庫を隣接・所有しているため加工後すぐに凍結。また、併設の3,000tを収容可能な営業冷凍倉庫と、20tの急速凍結庫、そして1,182㎡の広い水産加工工場と充実の施設を完備。

青森県八戸の海から世界へ。

鮮度にこだわった水産品をお届けします。



株式会社 オフィス弁慶
031-0841 八戸市鏡町字目出町10-2
TEL 0178-51-3611 FAX 0178-51-3612



1850年創業
漁民の利益につながる、よい漁具を

謹賀新年



アサヤ株式会社

先進のヤマハFRP漁船

DX-120-0A

興六号定置 代表 佐野勇二艇



ヤマキ船舶化工株式会社

本社・工場 北海道二海郡八雲町野田生70番地
TEL 0137-66-2111(代) FAX 0137-66-2874
営業部 小樽市築港5-7
小樽港マリーナ・センターハウス2F
TEL 0134-31-1135 FAX 0134-31-1141
URL <http://www.yamaki-marine.co.jp/>

努力・技術・信頼 高性能FRP漁船

創業
65年

復興に全力で取り組んでおります。
造船工場・上架施設が再建できました。



有限会社 志津川造船鉄工所

宮城県本吉郡南三陸町志津川字大森町94
TEL 0226-46-2114 FAX 0226-46-3238
shizugawazousen@yahoo.co.jp